

**向山・石神井小FCなど3回戦**

**第38回全日本東京都ブロック予選**

第38回全日本少年サッカー東京都中央大会に向け、都内各地でブロック予選が真っ最中。東



**学童サッカー**

2回戦の24試合が行われ、向山サッカー少年

京都第3ブロック(練馬)予選は12日、練馬区の大泉さくら運動公園多目的運動場などで決勝トーナメント1

**松永主将が2発**

△2回戦

向山サッカ2-0南光SC  
センターバック・松永洋紀キヤプテンのゴールなどで、向山サッカー少年団が2回戦を突破。4年ぶりのブロック代表に大きく前進した。「自分のゴールでチームに勢いを付けることができ、気持ちいい」と松永君。勝利を導く値千金のゴールに笑顔が弾けた。

前半は南光SCにボールを支配された向山だったが、後半に入ると途中出場の館野剛君、梅原壮太君、元村彬人君、島田陽輝君らが積極的に攻め込み、徐々にペースをつかんだ。

主導権を握った向山は後半13分、ゴール前の梅原君からのバックパスをティフエンスラインから走り込んだ松永君が受け、ゴール左に突き刺し先制すると、同18分に

は、FKのチャンスを松永君が直接決めて2点目。攻守でチームを引っ張った大異変の活躍で3回戦進出を決めた。

後神英介監督は「初戦はガチガチでしたが、負けたくない気持ちを持って戦ってくれましたね」と尻上がりに機能した選手らをねぎらった。5年生ながらスタメン出場を

**チーム一丸3発**

石神井FC3-0早宮SC  
立野タリンスとの初戦を競り勝ち、勢いに乗った石神井小FCが早宮SCとの2回戦では攻撃陣がしっかりと決めて快勝。初のブロック代表獲得に向け、好スタートを切った。

前半から山森晴生君、男沢傑範君のゴールで2点を奪い主導権を握ると、後半9分には縦パスに反応しゴール前に飛び出した金井志有人君が相手GKをかかわしてゴール

に流し込み3点目。「チーム力で勝負するチーム」と伊藤政和監督が話すように、区立石神井小学校に通う生徒だけで構成する仲良しチームが高いつチームワークをみせ勝利した。

先制ゴールの山森君は「チームに貢献することができてよかった」と納得の表情。守備の要として奮闘した清水健キヤプテンは「小学生最後の1年。代表になれるように頑張ります」と悲願達成に向けチーム一丸で挑む覚悟だ。

△1回戦

村系サッ2-1木二SC
VISTA5-0南甲SC
緑Jr.S.C0-0FCベガ
(PK5-4)
鷹FC・U22-0E.A.S.E
コレカSC4-1鶴小生SC
関町SC5-0豊南SC
RALPHIE6-3大泉小FC
MAMEOS4-1関二FC
南光SC4-0練馬サッ
向山サッ2-0関小SC
開鷹西小SC3-1光が丘SC
若利イン2-1若草サッ
早宮SC8-1大北FC
石神井FC2-1立野タリ
芝草サッ6-0長栄サッ
仲町FC7-0ななろSC

△2回戦

村系サッ3-0VISTA
鷹FC・U25-0緑Jr.S.C
コレカSC8-2関町SC
RALPHIE5-2MAMEOS
向山サッ2-0南光SC
若利イン1-0開鷹西小
石神井FC3-0早宮SC
芝草サッ6-0仲町FC

果たしたFW梅原君は「次からは1試合2ゴールは決めたい」と元気にゴール宣言した。



向山サッカー少年団が3回戦進出を決めた。左は向山サッカー少年団のメンバー、右は試合中の様子。